

無線電気供給方式且つ流し台付着型
超音波殺菌洗浄器の製造技術
(株)コサンテクノロジー

2009. 1. 30 - 2. 3

韓国技術ベンチャー財団

目次

1. 企業紹介
2. 技術紹介
3. 市場現況及び展望
4. 権利獲得現況
5. マーケティング目標

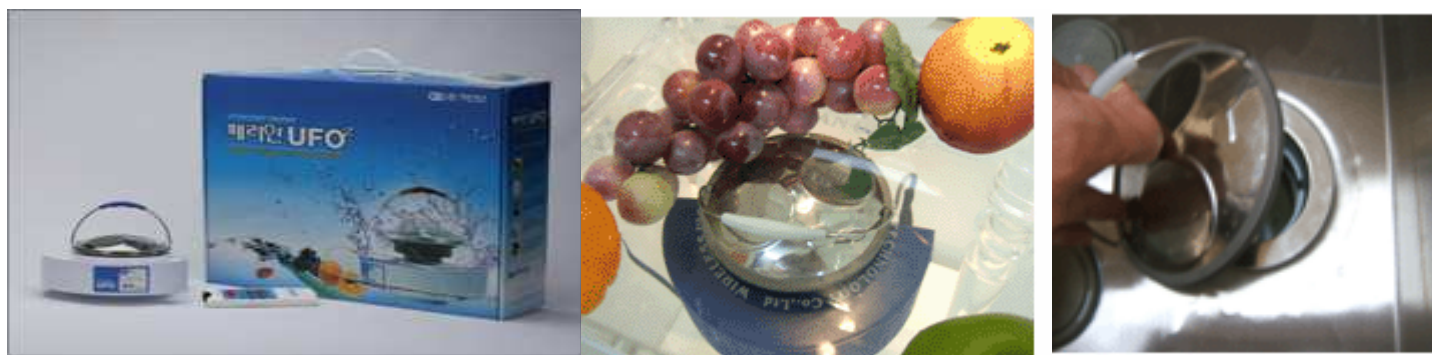
1. 企業紹介

会社名 (設立日)	(株)コサンテクノロジー (2004年11月)	代表者	鄭 一權
資本金	3億ウォン	売上額 (2007年)	12億ウォン
住所	慶尙南道晉州市七岩洞150晉州産業大学BIセンタ		
Homepage	www.guesang.co.kr	E-mail	perian33@yahoo.co.kr
TEL	82-55-753-5900	FAX	82-55-758-8811

2. 技術紹介

□ 技術概要

流し台と排水管の間に付着すると、無線で送電し排水蓋内にある超音波装置を動かし超音波及び微細なオゾンが発生する。これにより、洗剤なしで殺菌・洗浄ができる親環境的な殺菌・洗浄器の製造技術である。流し台の排水蓋にある超音波の振動部と流し台の底に付着した回路部を完全に分離し、無線で電気を供給して動くようにする仕組みである。この際、振動部の振動によって微細な気泡が発生し、この気泡によって洗剤を使わず洗浄ができることである



2. 技術紹介

□ 技術特徴

現在の清浄方法のなかで、製品の損傷を減らし洗剤による2次汚染がない方法は超音波による洗浄しかない。超音波洗浄は、手で洗う際に効果がよりよくなが、電気の使用中に手を入れることは非常に危険なことである。この点に着目し、安全のために磁場方式と電気を無線で供給する方式を採択した。

- 1) 流し台さえあれば誰でも付着可能。
- 2) 果物や野菜の残留農薬を99%以上除去できる。
- 3) 気泡による植物繊維質の強化(新鮮度維持)
- 4) 強力な殺菌効果、湿疹の予防。
- 5) 4～15分相当の短時間の食器洗浄。
- 6) プラスチック製容器からの食べ物の臭いを除去。
- 7) 水の節約及び洗剤を使わないので環境汚染の防止。
- 8) cavitation現象で瞬間高温の殺菌・抗菌。
- 9) 手が届かないところまで洗浄可能。



2. 技術紹介

□ 従来技術との比較

- 1) 無線で超音波振動子に電気を供給する源泉技術開発であり、韓国国内外の特許を保有している独自の製品。
- 2) 殺菌効果と洗浄効果を同時に実現。
- 3) 環境にやさしく、簡単に使えるように設計されている。
- 4) 低価で、設置が簡単。

3. 市場現況及び展望

□ 予想市場の規模

1) 食器洗浄器の各国普及率

区分	アメリカ	フランス	イギリス	ドイツ	イタリア	オランダ	韓国
食器洗浄器	60%	46%	31%	58%	33%	41%	10%

資料:2006年基準GFK、APPLIANCE

2) 食器洗浄器市場の規模及び市場シェアの推移

区分	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年
市場規模	85	120	140	180	211	249	236	220
一般	55	70	80	100	71	68	56	60
建設	30	50	60	80	140	181	180	160
建設シェア	35.3%	41.6%	42.8%	44.4%	66.4%	72.6%	76.3%	72.7%

資料:東洋マジック分期報告書(2008.09)

4. 権利獲得現況

□ 韓国内及び海外出願、登録現況

出願番号	10-2004-0018846 (登録番号 第0559119号)		
出願日	2004.03.19	優先権主張日	2004.03.19
課題名	流し台装着型食器洗浄器		
技術要旨	<p>本技術は、超音波の動作部と制御回路部を1,2次側で構成された誘導電流方式を使い、完全に分離して動作部の異状による漏電の恐れを完全に遮断する技術である。又、従来の流し台に簡単に装着して使用できるし、経済的であり、空間効率が高い装着型食器洗浄器に関する技術である。</p>		

5. マーケティング目標

□ ビジネスのポイント

- 1) 無線で電気を供給する方式なので、感電の恐れがない(特許出願)
- 2) 従来の流し台に簡単に設置可能(一回の設置で半永久的に使用可能)
- 3) 別途の保管空間が不要
- 4) 超音波洗浄器の補修が簡単(振動子付着捌け口キャップ交替)
- 5) 水の節約、洗剤を使わない環境にやさしい製品
- 6) 果物の糖度や野菜の新鮮度が増加し、日持ちがよくなる。

5.マーケティング目標

□ 予想需要先

1) 流通業者

2) 建設業者

3) 貿易業者